

## 特例財団法人国連大学協力会 2009年度事業報告

### FY2009 Operational Report

#### 【基本方針】 Basic Guideline

国連大学は、2009年1月、東京本部に「サステナビリティと平和研究所(UNU-ISP)」を新設した。UNU-ISPは、「サステナビリティと平和」という新たなテーマに基づき、環境問題や人間の安全保障、平和構築と開発の問題等、多分野にわたる地球規模の緊急課題について、分野横断的・総合的なアプローチによって革新的な研究活動の展開を目指している。国連大学は、同時に、より高度かつ専門的な立場から地球課題解決に取り組む人材養成を本格的に行うために、UNU-ISPを基盤として、修士課程及び博士課程よりなる新たな大学院構想を打ち立て、その準備を開始した。

このことにより、09年度における国連大学協力会の事業は、国連大学の従来活動とともに新たな大学院構想の実現を支援するために、広報活動、募金活動ならびに助成活動、並びにその他の公益活動の活性化を図ることを基本方針とした。

なお、国連は2009年12月21日の第64回国連総会において、国連大学憲章の改正を採択し、国連大学は正式に大学院学位の授与機関としての機能を備えることとなった。

#### 【事業報告】 Operational Report

##### I 寄附金募集活動 Fund-raising Activities

###### (1) 「国連大学創設35周年記念 大学院“サステナビリティと平和研究科”支援基金」 計画の検討(新規)

Reviewing the Fund-raising Plan for the 35<sup>th</sup> UNU Founding Anniversary: the Support Fund for “UNU Graduate School - Department of Sustainability and Peace”  
(New Issue)

本法人では2009年度、国連大学における新たな大学院構想の提唱を受け、国連大学の目的とする地球課題解決に資する人材育成の意義及び重要性に鑑み、新大学院の学生への奨学経費助成を中心とする「大学院“サステナビリティと平和研究科”支援基金」の募金計画を立案し、その具体化に着手した。しかし、2009年夏にはやや回復の兆しを見せていた我が国の経済状況は、同年秋以降、一段と深刻な状況を呈するようになった。そのため、同基金の募金金額、募金方法などについてさらに検討を重ねることとなった。

###### (2) 一般寄附金 General Donations

「一般寄附金」は、広く国民から随意に受け入れる寄附金であり、09年度において本法人が受け入れた個人及び法人・団体からの一般寄附金の総額は、15,025,000円で、その内訳は別表(P.6)のとおりである。

###### (3) 賛助会費 Dues from Supporting Members

国連大学の活動を継続的・安定的に支援するために、個人及び法人・団体からの「賛助会費」による寄附金募集が必要であり、ウェブサイトによる広報の他、国連大学が開催

するグローバル・セミナーやシンポジウム、各種イベント等の機会を活用して関係書類を積極的に頒布し、会員の募集に努めた。09年度において、賛助会費収入の合計は1,400,000円であり、会員種別による内訳は個人会員97件、法人会員5件であった。

## II 国連大学への国民の関心を高め、支持を強化するための事業

### Works to strengthen public interest and support for UNU

国連大学の活動が、人類の生存や福祉、発展に関わる緊急で地球的な課題の解決に不可欠なものであることについて、広く国民の理解を得、幅広い国民各層が国連大学の活動に高い関心を寄せ、強力な支持が得られるよう、キャンペーン・広報事業を積極的に推進した。

#### (1) 広報用パンフレットの作成・改定（継続事業）

##### Creation of publicity pamphlets (On-going)

国連大学と本法人の活動内容をより具体的に伝えるよう、各種パンフレットを制作・改定し、積極的に頒布した。さらに、「国連大学協力会ニュースレター」において、グローバルイシューの解決に取り組む国連大学サステナビリティと平和研究所の諸活動の内容、イベントの様式や関係者へのインタビュー記事を掲載した上で、賛助会員を中心として幅広く頒布し、国連大学と本法人の活動に関わる情報提供と広報に努めた。

#### (2) 国連大学グローバルセミナー湘南セッション25周年記念リーフレットの発行（新規事業）

##### Issuing a leaflet, “The 25th UNU Global Seminar - Shonan Session” (New)

2009年度、グローバルセミナー湘南セッションの25周年を記念し、同セミナーの過去の実施概要や修了生、プログラム委員のメッセージやコメントを収録した記念リーフレットを作成し、広く頒布した。

#### (3) ウェブサイトのリニューアル（新規事業）

##### Renewal and enrichment of our website contents (New)

ウェブサイトをリニューアルし、本法人及び国連大学の活動内容に関するコンテンツの充実を図り、一般閲覧者への情報提供に努めた。また、サイトを介して本法人賛助会員への登録や主催事業への申込みを行えるようシステム化した。

## III 講演会、シンポジウムの開催

### Opening Public Lectures and Symposiums (On-going)

国民の各層に人類の生存や福祉、発展に関わる緊急で地球的な課題の解決のための知識や方法論、国連関係機関や国連大学の活動と人々の生活、企業活動との関連など、身近な問題から国連大学の活動の重要性を認識してもらえるよう、一般市民が参加できる講演会を下記のとおり実施した。

(1) 名古屋大学との共同セミナーの開催（新規事業）

Co-sponsored a symposium with UNU and Nagoya University (New)

11月26日、国連大学および名古屋大学との共催で、公開シンポジウム「資源としての生物多様性を考える－COP10へ向けて－」を名古屋大学キャンパス野依記念学術交流館で開催した（後援：外務省及び文部科学省）。シンポジウムでは、国連大学の武内和彦副学長（UNU-ISP 所長兼務）と国連大学高等研究所（UNU-IAS）のサム・ジョンストン上級研究員が基調講演を行った後、名古屋大学から多彩な専門分野の研究者が登壇して、それぞれ「資源としての生物多様性」に焦点をあてながらスピーチを行った。また、名古屋市の加藤正嗣環境局顧問からは、2010年に同市で開かれるCOP10の開催意義や準備状況等が報告された。当日は研究者、学生、行政、NPO、一般市民等が多数来場し、身近で理解しやすい話題の提供とともに、新しいテーマ・観点による議論が展開され、「生物多様性」「資源」「COP10」について再認識される機会となった。

(2) 国連大学グローバル・セミナー湘南セッションの共同運営（新規事業）

Co-sponsored UNU Global Seminar - Shonan Session (New)

国連大学のグローバル・セミナー湘南セッションは開催25周年を迎え、それを記念し、2009年8月、同セミナーの初日の基調講演を「公開講演会」として一般市民にも広く公開することとしたが、本法人は同講演会の一般広報業務を担当すると共に、また、会議運営面について国連大学と共同で運営を行った。また4泊5日にわたる研修期間中、プログラム委員を派遣するとともに、本法人インターン職員が補助業務に従事し、運営協力を行った。

講演会では、ウィリアム・トゥ オーストラリア国立大学教授と武者小路公秀 大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター所長を講演者として招き、グローバル化の進展が東アジア地域にもたらした影響と挑戦を取り上げながら、同地域が直面する新旧の政治・経済的な課題に焦点を当てた。

#### IV 国連大学への助成活動 Support Activities for UNU

国連大学への助成に当たっては、国連大学が真に必要とする分野の活動について、事前に国連大学関係者との十分な連絡調整のもと、助成対象事業などを検討するとともに、具体的助成事業の選定・助成額配分などについては、「国連大学協力会助成・寄附諮問委員会」による審議を経て行った。09年度の国連大学への助成金額は、合計21,000,000円であり、助成対象となった国連大学のプログラムは以下のとおりである。

(1) 国連大学の研究活動等に対する助成 Grant-in-aids for UNU Research Activities

09年度において「国連大学サステイナビリティと平和研究所」の下記の活動に対し助成した。

① アジア沿岸水圏における環境モニタリングとガバナンス（継続）

Environmental Monitoring and Governance in the Asian Hydrosphere (On-going)

日本、中国、韓国、ベトナム、フィリピン、マレーシア、タイ、シンガポール、インドネシア、インド、パキスタン等の沿岸水圏（海水、河川水、湖沼）の汚染を防止するため、各国の公的機関や大学の環境汚染化学物質の分析能力向上を目指して行う調査・研究に対し、2009年度も引き続き助成を行った。同事業は、ダイオキシンやPCBなどの残留性有機汚染物質の検査技術の向上を図り、アジア水圏の良好な環境監理を目指している。

② 国連ウィークにおける国連大学の事業（継続助成）

UNU Activities on the UN Week (On-going)

日本国内の国連機関が毎年10月下旬に開催するイベントで、2009年度は国連ウィークとして、国連や国連大学の活動・成果・課題を知ってもらうことを目的として共同イベントを行われた。国連大学では、基調講演、パネルディスカッションを実施し、本法人は当該事業に対し助成した。

(2) 国連大学の研修活動等に対する助成 Grant-in-aids for UNU Training Activities

① 国連大学グローバル・セミナー湘南セッション（継続助成）

UNU Global Seminars - Shonan Session (On-going)

国連大学は、地球規模の問題やその取り組みにおける国連の役割について、大学生や若い専門家の理解を深めることを目的とした研究普及活動に積極的に取り組んでいる。その中で重要な役割を果たしているのがグローバル・セミナーシリーズで、国連との関係に焦点を合わせた国際問題をテーマに取り上げ、国連スタッフ、学者らによる講義と討論を合宿形式で行っている。2009年度は、湘南セッション開催25周年を記念し、初日の基調講演を公開講演会として一般来場者も交えて、国連大学本部で実施された。

② 新大学院開設準備のための助成（新規助成）

Support for establishment of the UNU Graduate School (New)

国連大学本部が、2010年より開設する新大学院「サステイナビリティと平和研究科」の創設準備に対して助成を行った。

(3) 国連大学の施設・整備に関する助成 Grant-in-aids for enhancement of UNU facilities

① 国連大学本部の施設維持特別助成（継続助成）

Maintenance of UNU Centre facilities (On-going)

国連大学本部の施設維持について支援した。

② 国連大学図書館図書購入費（継続助成）

UNU Library Book Procurement Fund (On-going)

国連大学図書館の蔵書の充実に資するため支援した。

V 国際相互理解の提供及び国連大学への協力事業      Operations Delegated by UNU

① 国際講座受講生の日本文化体験プログラム（継続事業）

Japanese Culture Experience Program for participants of the UNU International Courses (On-going)

国連大学の短期研修講座「国際講座（International Courses）」の受講生を対象として、日本文化体験の一環として、6月の講座期間中に歌舞伎見学プログラムを企画・実施した。

② 国連大学研修事業における諸費用の徴収事務（継続事務）

Collection of the fees for UNU Trainings (On-going Administrative Support)

国連大学が実施する事業の業務遂行の合理化を図る観点から、研修事業において、主として日本人参加者からの諸費用徴収にかかる事務について、国連大学からの委託を受託した。

VI 本法人の管理運営に関する事項      jfUNU Management and Operation Related

新公益法人への移行申請を行い、2009年12月18日付で内閣総理大臣臨時代理より公益財団法人としての認定を得た。

以 上

**<特例財団法人国連大学協力会 2009 年度事業報告 別表>**

**2009 年度 寄附金収入及び国連大学への助成実績一覧**

< FY2009 Operational Report Annex >

FY2009 List of Donations and Other Support for UNU

寄 附 金 収 入 (Donations and Dues)		金 額(¥)
一般寄附 General Donation	個人 2件 2 Individuals 法人 1件 (五十音順) 1 Corporation 株式会社島津製作所 Shimadu Corp.	15,025,000 円
替助会費 Members Due	個人会員 97件 (Personal Members: 97) 法人会員 5件 (Corporate Members: 5)	1,400,000 円
合計額 :		16,425,000 円

国 連 大 学 へ の 助 成 (Grant-in-aids for UNU)	金 額 (¥)
・アジア沿岸水圏における環境モニタリングとガバナンス Environmental Monitoring and Governance in the Asian Hydrosphere	14,250,000 円
・「国連ウィーク」における国連大学の事業 UNU Activities on the UN Week	100,000 円
・グローバル・セミナー湘南セッション UNU Global Seminars - Shonan Session	790,000 円
・新大学院開設準備のための助成 Support for establishment of the UNU Graduate School	810,000 円
・国連大学本部の施設整備助成金 Maintenance of UNU Centre facilities	5,000,000 円
・国連大学図書館図書購入費 UNU Library Book Procurement Fund	50,000 円
合計額 :	21,000,000 円